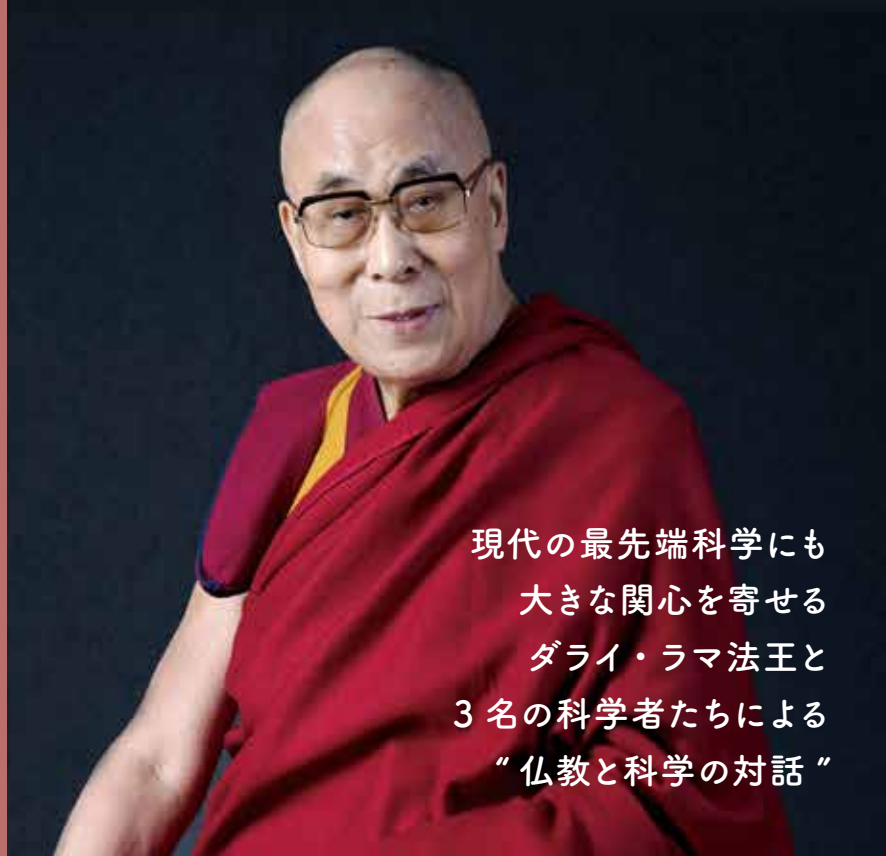


A DIALOGUE BETWEEN HIS HOLINESS THE DALAI LAMA AND SCIENTISTS

科学の大きな利点は、物理的なレベルの苦しみを取り除くのに大いに役に立つことです。しかし精神的な苦しみと向き合い、乗り越えていくには、人間の心が持つ優れた特性を磨き、私たち自身の態度を変革していくしかありません。したがって、私たちが健康と幸せを考える上で、精神性の探求と科学は無関係ではありません。私たちにはどちらも必要です。心理的な面と物理的な面、両方の苦しみを取り除かなければならないからです。

ダライ・ラマ法王 14 世



現代の最先端科学にも
大きな関心を寄せる
ダライ・ラマ法王と
3名の科学者たちによる
“仏教と科学の対話”

ダライ・ラマ法王と科学者との対話



吉川 左紀子 専門：認知心理学

Sakiko Yoshikawa
Cognitive Psychology

1954年北海道生まれ。1977年京都大学教育学部卒業。1982年京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。追手門学院大学文学部助手、助教授、英国ノッティンガム大学客員研究員、京都大学教育学部助教授を経て、2002年京都大学大学院教育学研究科教授。京都大学こころの未来研究初代センター長(2007年～2018年)。現在、同センター教授。視線・表情認知など非言語コミュニケーションの基礎にある心の動きに関心があり、行動実験や脳機能計測を用いた研究論文を発表。2014年、米国のMind and Life Instituteとともに、京都で2日間のダライ・ラマ法王と科学者との対話「Mapping the Mind」を主催し、成功させた。



入来 篤史 専門：脳神経科学

Atsushi Iriki
Brain and Neuroscience

1957年東京生まれ。1982年東京医科歯科大学卒業。1986年同博士課程修了。医学博士、歯学博士。専門は神経生理学、認知生物学。東京医科歯科大学歯学部助手、ロックフェラー大学(アメリカ)助手、東邦大学医学部助手、講師、助教授を経て、1999年東京医科歯科大学医歯学総合研究科教授。現在、理化学研究所生命機能科学研究センター・チームリーダー。他に慶應義塾大学客員教授、ロンドン大学(イギリス)客員教授、南洋理工大学(シンガポール)客員教授、カナダ高等研究所フェロー、英国王立医学協会フェロー、リケナリシス株式会社(理研ベンチャー)代表取締役社長。著書に『研究者人生双六講義』(岩波科学ライブラリー)『Homo faber 道具を使うサル』(医学書院)『言語と思考を生む脳』(東京大学出版会)『脳研究の最前線』(講談社ブルーバックス)『脳科学の教科書』(岩波ジュニア新書)等多数。



朱 創新 専門：物理学

Chong-Sun, Chu
Physics

1969年香港生まれ。1991年香港中文大學物理學科卒業。1996年カリフォルニア大学バークレー校(アメリカ)物理学博士。トリエステ国際高等研究スクール(イタリア)研究員、ヌーシャテル大学(スイス)研究員、ダラム大学(イギリス)数学科教授(2001年～2015年)、国立清華大学(台湾)物理学科准教授(2002年～2004年)を経て、2012年国立清華大学物理学科教授。2015年より国立理論科学センター(NCTS)物理学部門の部門長を務める。英国物理学会フェロー、英国高等教育アカデミーフェロー。専門は超弦理論、数理論物理学。超弦理論の分野で多方面に寄与し、Dブレーンと時空の非可換性の起源についての先駆的研究「非可換の開弦とDブレーン(Noncommutative open string and D-brane, 1999年)」などがある。近年はホログラフィー原理と量子情報を中心に研究を行っている。

16th November 2018 at Pacifico Yokohama

パシフィコ横浜 国立大ホール 2018年11月16日(金) 9:00～12:00 (8:00開場)

◎入場料：3日間通しチケット(11月14日～16日) B席20,000円/D席10,000円【発売中：チケットぴあ：ローチケHMV】

◎主催・お問い合わせ先：ダライ・ラマ法王日本代表部事務所(チベットハウス・ジャパン)

〒161-0031 東京都新宿区西落合3-26-1

TEL: 03-5988-3576 / FAX: 03-3565-1360

E-mail: lohhd@tibethouse.jp

ダライ・ラマ法王からのメッセージ

20世紀終盤、科学者は、こころと感情の働きに真剣に関心をもつようになりました。一方で私はといえば、どのようにして物が動くのかということに幼い頃から強い興味を抱き、先代のダライ・ラマ13世の遺品であった映写機や発電機などを分解しては電気の仕組みを夢中で学ぶ少年でした。そして40年ほど前から、宇宙論、神経心理学、量子物理学を生部ようになり、およそ30年にわたって科学者との対話を定期的に行っていました。このような対話の第一の目的は、こころが穏やかな状態を研究することによって人類の幸福を促進していくことです。

私は、仏教は現代社会において特別な役割を担っていると考えます。このように考える理由は、仏教は他の宗教と相違点にあります。仏教は、相互依存の概念を掲げる唯一の宗教です。相互依存の概念は、現代科学の基礎概念と一致します。仏教は、哲学、科学、宗教の主として三つの側面から考えることができます。宗教的な側面では原則や修行などを伴うため仏教徒に限られますが、相互依存を扱う仏教哲学、そして、こころや感情を扱う仏教科学は、どなたにも大きな恩恵をもたらしてくれます。

ご存じの通り、現代科学は身体や脳の微細な働きをはじめ、高度に洗練された物理的世界を解き明かしてきました。一方で仏教科学は、こころや感情をさまざまな面から詳細に理解することを第一に専心してきました。こころや感情は、現代科学においては比較的また新しい分野です。ゆえに、現代科学と仏教科学は重要な知識を互いに補い合うことができるでしょう。私は、現代科学と仏教科学、それぞれのアプローチの統合が、身体・感情・社会のウェルビーイングを推進するための発見に繋がると確信しています。

Message from The 14th Dalai Lama

Towards the end of the twentieth century, scientists began to take a serious interest in the workings of our minds and emotions. I, on the other hand, have been fascinated by how things work since I was a child and learned a great deal about how electricity functions from investigating the movie projector and generator that had belonged to the 13th Dalai Lama. Then, about 40 years ago, I began to learn about cosmology, neuropsychology and quantum physics and for nearly 30 years have been conducting regular dialogues with scientists. The purpose of these dialogues has been, firstly, to extend human knowledge, not only in the material field, but also the inner space of our minds, and, secondly, through exploring such phenomena as a calm mind, to promote human happiness.

I believe Buddhism does have a special role to play in our modern world. This is because, unlike other religious traditions, Buddhism uniquely propounds the concept of interdependence, which accords closely with fundamental notions of modern science. We can think of Buddhism in terms of three main categories – philosophy, science and religion. The religious part involves principles and practices that are of concern to Buddhists alone, but the Buddhist philosophy of interdependence as well as the Buddhist science of mind and human emotions are of great benefit to everyone.

As we know, modern science has developed a highly sophisticated understanding of the physical world, including the subtle workings of the body and the brain. Buddhist science on the other hand, has devoted itself to developing a detailed, first-person understanding of many aspects of the mind and emotions, areas still relatively new to modern science. Each therefore has crucial knowledge with which to complement the other. I believe that a synthesis of these two approaches has great potential to lead to discoveries that will enrich our physical, emotional and social well-being.



司会：山口容子 Yoko Yamaguchi

フリーアナウンサー。1984年 慶應義塾大学文学部卒業。卒業後 91年までテレビ朝日アナウンサー。現在はテレビ朝日アスクなどで企業研修講師。学生・新入社員・中堅社員・エグゼクティブ向けに、コミュニケーションとプレゼンテーションのブラッシュアップをサポートしている。大病をきっかけに「ストレスコーピングトレーナー」となり、ストレス軽減自己対処法のアドバイザーとしても活動中。著書：『ハッピーボイス・トレーニング』（ソフトバンククリエイティブ）